# 平高新聞

第８号
発行：長崎県立平戸高等学校学務部
令和４年１１月３０日

## 校長室から

### 「コミュニケーションは聞くことから

校長　峰 薫

１１月から全校生徒で、１対１のオンライン英会話に取り組んでいます。講師は、フィリピンのセブ島オフィスにいるネイディブスピーカーです。１人１台タブレットを利用して、１回２０分の英会話レッスンを行います。友達に聞きながら進めることができず不安そうな生徒がいる一方、落ち着いて相手の言葉を聞き、丁寧に回答して満足げな生徒もいます。３月までに、１・2年生は７回、３年生は６回のレッスンを行います。レッスンは講師の英語での質問に答える形で進められ、画面上に示された図を見て、どのトピックについて話したいか伝えて開始です。講師がチャットでより適切な表現を教えてくれます。いい表現には、「はなまる」も。

オンライン英会話はスタートしたばかりですが、生徒たちの様子を見ていて気づいたことがあります。

さすがは「デジタルネイティブ世代」。初回は、接続できない、カメラが起動しないといったトラブルもありましたが、ほとんどが担当者の指示を聞きながら自分で設定できていました。

事前学習用コンテンツへの取り組みが意欲的です。トピックスをもとに、質問を予想して英語で回答を準備していました。何歳ですか？　好きな食べ物は何？　どんなスポーツが好きですか？　事前学習用のプリントにたくさん書き込んでいました。

コミュニケーションは「伝えること」からではなく、「聞くこと」からなのだと実感しました。いつもにぎやかに話している生徒が会話が続かなかったり、口数の少ない生徒がどんどん会話を進めていたり・・・。英語が得意か苦手かという問題ではないようです。講師の言葉をじっくり聞いて答えようとする生徒には、講師も答えを待ち表現の仕方についてアドバイスをくれます。相手の思いを受け止める力が会話の基盤だということです。

オンライン英会話導入の目的は、英会話スキルの向上だけではありません。将来に渡って、自分の興味関心に従って、自分のペースで、自分にあった学びを続けてほしい。１年生から３年生まで、全生徒の英会話トピックスは同じです。しかし、生徒の状況に合わせたアドバイスが行われ、到達目標も変わります。皆が同じレベル（基礎）をクリアーすることも教育の目的ですが、その上に積み上げられる部分は個性として多様であるべきだと思います。

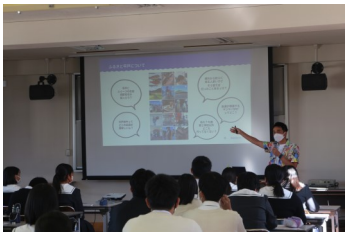
今回は、県の教育委員会の指定を受けて、全額補助で取り組んでいますが、次年度も個人的に継続して取り組む生徒がいるといいなと思います。

## オンライン英会話

１１月１７日に１年生で実施したオンライン英会話の様子です。『トピック・トーキング』の題材について、ネーティブスピーカーとオンラインで会話しました。

## ふるさと学習講演会

１１月２日、波佐見町にあるベンチャー企業スチームシップの藤山雷太氏を招き「ふるさとの宝探し」をテーマに講話をしていただきました。生徒の感想はホームページに掲載しています。



# 慈眼祭

# 開花

## ～一人一役全員主役～

１０月２９日（土）に慈眼祭（文化祭）を行いました。授業で学んだことの発表の場として開会式後に太鼓やギター、ピアノの演奏を鑑賞しました。他にも理科、国語科、書道の授業での制作物や1年生が制作した展示物、パソコン研究部のブース等が文化祭を彩りました。ステージ発表では、この日のために準備・練習した劇や、のど自慢コンテスト、職員によるコーラス等多くの演目を発表することができました。他に家庭ボランティア部の製作したお菓子は大盛況ですぐに売り切れました。体育祭終了後の短い期間でしたが、実行委員を中心に生徒全員が協力して準備できたことで、充実した慈眼祭とすることができました。来場していただいた皆様ありがとうございました。

## 表彰（税に関する作文）

国税庁などが募った「税に関する作文」の平戸市内の入賞者に本校より２名が選出されました。

平戸市租税教育推進協議会優秀賞　２年　平松　幹将

平戸税務署長賞　２年　松口　結愛

## １２月の主な行事

１日（木）～　６日（火）２学期期末考査

８日（木）　授業研究会

１２日（月）～１４日（水）３年福祉系列現場実習

２２日（木）　クラスマッチ

２２日（木）～２７日（火）三者面談（2年生）

２３日（金）　第２学期終業式